

Lived -Experience and the Emotion: Trust and Shame

Anthony Steinbock 南イリノイ大学哲学科教授

2010年1月20日(水曜日) 17時00分—19時00分
場所：東京大学総合文化研究科・教養学部(駒場キャンパス)
18号館4階 コラボレーションルーム 2

Steinbock氏は、Home and Beyond : generative phenomenology after Husserl , Northwestern University Press, 1995 において、フッサール現象学を発展的に解釈し、generative phenomenology という新たな見方を提出したことによってよく知られるようになりました。最近では宗教の現象学に関心を集中され、Phenomenology and Mysticism: The Verticality of Religious Experience (Indiana Series in the Philosophy of Religion), Indiana University Press, 2007 を出版されました。今回は感情の現象学をテーマにした講演です。

主催：科学研究費補助金(基盤研究B, 21320003)「生態学的現象学の技術哲学的展開—生態学的に優れた人工環境の構築に向けて」(村田純一)

共催：東京大学グローバルCOE「共生のための国際哲学教育研究センター」(UTCP)

<http://utcp.c.u-tokyo.ac.jp/>

謝辞：この講演会は立命館大学間文化現象学研究センターのご好意により開催されます。